

た。三春の滝桜の二世や淡墨桜の二世など、全国のいいものを集めて回廊づくりをしている山形の人の姿勢や考え方に脱帽でした。これらの桜を育てた山形風土、千年の心がよみがえる。風情をよみとれた。(昔の人の心が大切にされていた) それにひきかえ、新潟では加地川の桜は桜が植えてあったから洪水になったと

いって伐採して土手を作りかえた。近くの小

学校では道路をまつすぐにするため、みんなの手を回してやっと抱えられるような大きな桜を何本も切つて道路をまつすぐに作りかえている。(植えた人の心を絶つ) 集落住民が勿体無いといつても県の事業・予算が住民の心より優先している。

歴史より現在の都合が最優先。私は山形の桜を見て、歴史の重みを感じました。帰つて多くの人には是非見てほしいとすすめました。益々のご発展をお祈りして!

◆樹齢千二百年の東北地方最大の巨木、久保桜、草岡の大明神桜。樹齢八百年の釜の越桜、樹齢千二百年の薬師桜とエドヒガンザクラの一本立

ちをはじめてながめ、あまりの見事さと年月を思い巡らし、ただただ圧倒され続け、言葉も出ない程の感激でした。その土地の人々との永い年月にわたる深い愛情のたまものと察しました。今年の連休、回廊めぐりは宝物となりました。

◆やきもきしながらその目を待つて



いたが、迎えてみれば我々の日程にピタリと照準を合わせてくれた置賜の桜たち。ガイドさんによる説明や伝説を聞きながらのうつとりとした桜行脚でした。何百年、何千年もの長い間、地域の人々にしつかりと守り継がれてきて、それに応えるかのように風格を漂わせていました。

じつと見つめていると、弱虫な私をしつかりせいと諫めてくれているようで、本当にそうしなければという思いの帰途でした。

◆置賜さくら回廊の旅では、樹齢千二百年のエドヒガンに何本も出会うことができました。なぜソメイヨシノは樹齢八十年より百年といわれるのに、エドヒガンは千

二百年も生きられるのか―疑問に思い、人に聞いたり本で調べたりしました。

①ソメイヨシノは接ぎ木により増やされるため、自分の根ではなく弱い。

②ソメイヨシノは大きな花をたくさんつけて咲く代償に寿命を縮めた。

③ソメイヨシノは天狗巢病にかかりやすい。

④長寿の桜は群生ではなく一本桜が多い。そのため太陽を独占できる。など、さまざまな答えがありました。けれど、一番の理由は千二百年もの間、それらの桜を大切に思い世話してきた人々の命のリレーがあったからだ。山形の人々が桜を大切に思う心を子孫に伝えてきたからだ

納得しました。

◆皆さんの行いがよろしいようで、また運も味方したのか、桜の咲き具合、天候、どちらにもよく恵まれ、大変良かったです。これでもか、これでもかと、次々に美しい桜を見ることができて感激でした。先生がおっしゃっていた「先人の人々が桜を大切に守ってきたから今こうやって愛でることができる。」本当にその通りだと思いました。

◆樹齢千二百年の桜、八百年の桜等、気の遠くなるような時を経て、今まで脈々と生き続けてきた、いや、生かし続けてきた先人たちの優しさや努力を思い、また、そのおかげで現在の私たちが美しい桜を見られることに感謝します。

◆お花見はどこへ行く?心を浮き立たせてくれる桜、赤湯温泉に浸かり楽しかったお花見。烏帽子山は元気だったころの父母、幼い子ども達との懐かしい思い出がいっぱいの桜でした。

◆お花見というものはあまりしたことがなかった私ですが、あまりのすばらしさに感動いたしました。また、ガイドさんのユーモアあふれるガイドぶりにとっても楽しい一日でした。来年も桜を見に来たいと思いました。